

2020年度 一般入学者選抜試験問題（前期日程）

小論文問題用紙

次の問題文の内容を参考にして設問に答えなさい。ただし、設問には問題文と各設問のみに基づいて推論し答えること。

【問題文】

大学のバスケットボール部が、西日本インターカレッジバスケットボール大会地区大会に出場することになった。開催地は大学から車では4時間半または電車では3時間かかる都市（海辺市）である。この大会は1回戦からトーナメント勝ち残りの試合方式となっている。1日に1試合で組まれており、1回戦は日曜日、2回戦は月曜日、3回戦は火曜日と続く。今年の遠征参加予定者は顧問の教員1名と男性部員7名、女性部員15名の計23名である。なお、この大学のバスケットボール部には男子チームと女子チームがあり、それぞれのチームにキャプテンがいる。顧問の西村先生は、大学側の責任者であって、日ごろからバスケットボール部の活動に何かと配慮してくれている。

新年度の授業が始まった4月某日の昼休みの12時40分ごろに、顧問の西村先生の研究室に時間に余裕のある部員が集まり、今年度の「遠征のしおり」を考えることになった。西村先生は研究室に戻ってくるのが遅くなる可能性があったので、事前に研究室のカギを3年生で女子チームのキャプテン三木さんに渡していた。三木さんがカギを開けて研究室に入ろうとすると、廊下を2年生部員の原さん、石川さん、木村さん、大塚さん、水谷さんが通りかかった。三木さんは、来年のためにと「遠征のしおり」をいっしょに考えるようにと誘ったが、原さん、木村さん、大塚さんの3名だけは13時20分から始まる選択科目の授業を受けるためと言って断った。三木さんと2年生の2名が西村先生の研究室に入って待っているうちに3年生の小野さんと田中さんが研究室にやって来た。

三木さん：西村先生は会議が少し延びているので、皆さんで先に考えてくださいという伝言があったよ。

小野さん：まだ、みんなそろってないけど、話し合いを始めていいかな？ここに去年の「遠征のしおり」があります。これはしっかりした江川先輩が作ったので、去年のものを参考にすれば何とかかなと思っています。

田中さん：江川先輩は、大会の詳細が発表されたら次の日には「遠征のしおり」を作ってくれていたよね。それから、遠征までにいつ何をしたらいいのかわらせてくれたり、遅れていたらさりげなく気づかせてくれたりしていたね。

小野さん：今年の開催地は1年中おいしい蟹やエビが採れる海辺市です。温泉もあるし景色もいいし、楽しみです。交通手段を考えたけど、計算すると電車を使って往復1人当たり10,000円くらい。バスだと2日間で1人当たり8,500円くらいです。なので、バスで行こうと思っています。

三木さん：昨年まではずっと1回戦敗退だから1泊で帰ってきたけど、今年は女子チームに井上さんと佐々木さんがいるから勝ち進んで2泊以上になる可能性があるんじゃないかな。女子の1回戦の対戦相手には練習試合で2勝しているし。

小野さん：今年の女子は強いから2回戦に進むことも十分考えられるね。男子の1回戦突破は相手チームが棄権しない限り無理だと思うけど。

田中さん：そこまで言う？

三木さん：2泊以上になったらバス移動の方が高くなりそうだね。それに海辺市ってインターから少し遠いから、電車の方が早いんじゃない。

平松さん：〈研究室に駆け込んできて〉ごめんごめん。学食が混んでいて、遅れてしまいました。

三木さん：今日の日替わり定食何だったの？

平松さん：メンチカツ定食。みんなはお弁当だったのね。

三木さん：学食のメンチカツ，結構大きいでしょ。おいしそう！で，今，計画をみんなで先に考えることになって，海辺市にどうやっていくか，話し合ってるよ。

小野さん：なんだか考えるの面倒だから，昨年と同じバスでいいじゃない？

田中さん：小野は部のマネージャーなんだからちゃんと考えろ。当日にいろいろ変更が出る方が面倒だよ。電車にしよう。

三木さん：大人数で電車に乗るんだったら何か割引があるかも。海辺市は新見駅から400キロ以上あるんじゃない？だから学割が使えるよね？さっそくだけど，平松さんはどう思う？電車のことにとっても詳しいでしょ。

平松さん：今回の遠征の人数だと学生団体割引がいいですね。でも，学生用の団体旅行申込書には学長の印が必要なので，事前に準備しないとけません。それから，みんな一緒に改札を通るということと，顧問の先生が引率するというのが条件です。学生団体割引が使えないときは，学生団体割引より割引率が低いけれど学割があります。これも事前に学校に申請しないとけません。学生団体割引と学割について調べて，遠征のしおりに書き入れておきます。

田中さん：使うかどうかかわからない学割って，申請できるの？それに，学割を使うときは学生証もいるって噂を聞いたよ。浜田君が帰省で学割を使うときに改札で学生証の提示を求められたって話だよ。

小野さん：浜田君は社会人に見えるからね。それなのにプリン好きとか蟹が食べられないとか子どもっぽいところもあるし年齢不詳だね。

田中さん：浜田君は甲殻類アレルギーだから蟹やエビを食べられないみたい。

三木さん：去年の遠征では，夕食のカニクリームコロッケを気付かずにうっかり食べて，夜中に病院まで行くことになり，みんなすごいあわてたよね。甲殻類アレルギーは命にかかわる重い症状になることもあるらしいから怖いね。

平松さん：学割はとりあえず申請したらいいと思います。学割は3ヶ月間有効だし，使わなかったら大学に返納することもできます。それから，学割利用時には学生証が必要です。

田中さん：(スマホを見ながら) あ。ちょっと，いま森川君から連絡が来て，体育館でフォーメーションの練習をしているからキャプテンに見に来て欲しいって。西村先生まだ来ないし，後輩が気になるからちょっと見に行ってくるね。あとはよろしく。

小野さん：わかった。いろいろ話し合った結果，電車がよさそうだね。もし，女子チームが2回戦に進んだら，男子チームも残って応援するよ。

三木さん：2回戦のある日は月曜日だよ。その日の2限目は中間テストをする授業だから無断で休むと，来年その授業を全部取り直すことになる可能性が大だよ。試合のために授業を休む場合は公欠になるけど，試合の無いチームは公欠にならないよ。

小野さん：女子チームと西村先生を残して，男子チームだけ先に帰れということか……。でもしかたないね。

三木さん：男女ともに2回戦に進めばいいのよ。公欠届は事前に必ず出さないといけないから，2回戦に進出できるかどうかわからなくても，遠征前に男女全員が公欠届を出そうね。もし，1回戦敗退なら後で公欠届を取り下げたらいいし。

(数十分後)

小野さん：やっと「遠征のしおり」の案ができたね。先生まだ帰ってこないのかなあ。

水谷さん：あ，西村先生が来られました！

西村先生：遅れてごめんなさい。どこまで話がまとまりましたか？

三木さん：先生が来られるまでの話し合いで，交通手段は電車にしました。細かいことは電車のことにとっても詳しい部長に考えてもらいました。「遠征のしおり」の案ができましたので見てください。

◎問題文の補足説明

- ※「遠征のしおり」はマネージャーが作成して、出発の3週間前までに部員全員に配布する。
- ※この部の役職は、大学側の責任者は1人の顧問教員、学生の責任者は1人の部長、部の庶務を管理するのは1人のマネージャー、チームをまとめるのは男子チーム、女子チームそれぞれ1人のキャプテンである。
- ※大学が認めた欠席を公欠（公認欠席）と呼ぶ。忌引き、感染症、部活動、気象警報、災害が公欠に認められている。公欠は単位認定に関わる欠席回数に含まない扱いとする。公欠をした場合は、課題の提出、補習授業の受講等により、その授業の学習を補うことがある。なお、忌引き、感染症、災害による公欠は事後の届け出が認められ、大学所在地の気象警報による公欠は届け出を不要としているが、部活動に伴う公欠は、各学生が顧問教員の承認を得て、必ず事前に大学に届け出る必要がある。ただし、公欠の取り下げや期間の短縮は、事情に応じて認められる。公欠の場合は、追試験等により別の機会に成績評価を受けることができる。
- ※学生団体割引は、大学生8人以上が、学校が認める教職員に引率され、同じ行程を一緒に旅行する場合に、学生団体として割引される。申し込みは、出発日の14日前までに、学長が証明する団体旅行申込書を持って駅に申請する。割引率は、運賃に対して学生が50%引で、教職員が30%引。切符は、1団体に1券片発行される。発券後の変更（人数、日程、乗車区間）は、1回を限度として無料で可能。
- ※学割（学生割引）は、学生が、利用区間の片道の営業キロが101キロ以上ある場合、運賃が2割引になる。申し込みは、各学校に行く。利用時は、学校が発行した「学生・生徒旅客運賃割引証」を持って駅の窓口で購入する。学割利用時は、学生証の携帯を求められる。
- ※経費（交通費、宿泊費、エントリー料）は、宿泊延長になる場合も含め、マネージャーが徴収、清算するので遠征のしおりに記載しない。
- ※気象警報の発表及び自然災害の発生（発生のおそれを含む）については、大学のマニュアルに定めるところによるので遠征のしおりに記載しない。

次のページに、学生同士の話し合いで作成し、西村先生に見ていただいた「遠征のしおり（案）」が書かれている。

◎学生同士の話し合いで作成し、西村先生に見ていただいた「遠征のしおり（案）」

西日本インターカレッジバスケットボール大会地区大会 遠征のしおり（案）

【概要】

試合日：6月9日（日）から

場所：海辺アリーナ（海辺市）

参加大学：男子 32 チーム，女子 32 チーム

すべてトーナメント方式

宿泊先：海辺駅旅館

参加人数：顧問の教員 1 名，男性部員 7 名，女性部員 15 名，計 23 名

緊急連絡先：健康科学部 3 年小野順平，携帯電話 090-0987-6543



【日程表】

遠征 1 日目：6 月 8 日（土）

9：30 新見駅に全員集合

10：00 新見駅出発 学生団体割引で乗車

13：30 旅館到着 事前に決めた部屋割りに従って移動

15：00 海辺アリーナで代表者会議（キャプテンのみ参加）

15：00 旅館近くの体育館で練習（コートランニング 5 分，ストレッチ 15 分，ドリブル・ハンドリング 10 分，シュート 15 分，1 対 1（ハーフコート）10 分，3 対 3（ハーフコート）15 分，5 対 5（ハーフコート）15 分，ストレッチ 10 分）

練習終了後は自由時間

19：00 旅館 2 階の大広間で夕食

20：00 旅館 2 階の大広間で作戦会議

遠征 2 日目：6 月 9 日（日）

7：30 旅館 2 階の大広間で朝食

9：00 旅館出発（徒歩で移動）

9：30 海辺アリーナ到着・チームミーティング

10：00 練習（ストレッチ 15 分，ドリブル・ハンドリング・パス 10 分，スプリントダッシュ 5 分，レイアップシュート・シューティング 5 分）

12：30 男子 1 回戦（A コート），女子 1 回戦（D コート）

15：30 どちらか 1 チームでも 1 回戦を突破した場合は，今後の行動計画について話し合う。

両チームとも負けた場合は，試合終了後，会場を去る（新見駅へ向かう最終電車は，19：30 に海辺駅を出発する）。



【持ち物】

部が指定する、個人の持ち物と部の持ち物を以下に書きました。忘れないようにしてください。なお、部の指定にはなっていない、着替え、傘、常備薬、若干のお金、スマホ、充電器、身だしなみ用品（コンタクトレンズ、化粧品、ヒゲ剃り）などは、個人の判断で持参してください。

個人の持ち物：ユニフォーム上下（濃淡2色）、シューズ、ソックス、練習着、短パン、バスタオル、タオル、大ビニール袋1枚（汚れ物入れ）、コンビニ袋2枚（ゴミ入れ）、水筒、健康保険証、学生・生徒旅客運賃割引証

部の持ち物：ボール18個、スコアブック、作戦ボード、作戦ノート、笛、ストップウォッチ、ビデオカメラ、三脚、クーラーボックス、コールドスプレー、アイスバッグ、テーピングセット、救急箱、雑巾、メガホン、赤ペン、蛍光ペン、のり、はさみ、貴重品入れ

【大学への手続き】

- ・大学の後援会から遠征の補助金が出るので、1週間前までに遠征補助の申請を大学事務局に届けます。手続きはマネージャーがします。
- ・学生団体割引は、大学生8人以上が教職員に引率され、同じ行程を一緒に旅行する場合に、学生団体として割引されます。申し込みは、出発日の14日前までに、学長が証明する団体旅行申込書を持って駅に申請します。申請はマネージャーがします。割引率は、運賃が、学生が50%引で、教職員が30%引です。
- ・学割（学生割引）は、学生が、利用区間の片道の営業キロが101キロ以上ある場合、運賃が2割引になります。申し込みは、各自で学校の事務室に1枚申請してください。利用時は、学校が発行した「学生・生徒旅客運賃割引証」を持って切符を購入しますので忘れないように持ってきてください。

【旅館への依頼】

- ・旅館はとりあえず1泊予約し、延泊の可能性もあることも伝えます。
- ・食事は夕食と朝食を予約し、メニューは旅館のおすすめの料理を頼みます。ただし、お酒は出さないようにします。
- ・ストレッチができる場所と大型冷蔵庫を貸してもらうように頼みます。
- ・手続きはマネージャーがします。

【その他の注意事項】

- ・大会1週間前から、高揚する人とナーバスになる人が出てきて、チームのまとまりが悪くなりがちなので注意しましょう。
- ・宿泊費と交通費は出発前日までに、別の書類で示す金額をマネージャーに渡してください。
- ・出発集合時に、ユニフォームを持ってきているか確認しますので、忘れないようにしてください。
- ・昼食は自由に選んでください。支払いは各自のお金でしてください。
- ・旅館に到着したら避難経路を確認してください。非常時は旅館の指示に従って行動してください。
- ・試合前日の作戦会議では、話し合いが長くなり、睡眠時間が短くなる傾向があるので、事前に話すポイントと時間を決めてから作戦会議に参加してください。
- ・チームが勝ち残る場合の宿泊等については、顧問教員の意見を聞いてその都度協議をします。
- ・遠征中は、20歳以上の部員もアルコール摂取はしないようにしましょう。
- ・遠征中は、本学の代表として参加していることを心がけましょう。



【設問】

◎解答上の注意

- ・「遠征のしおり（案）」に書かれた交通手段、宿泊場所の枠組みは問題の対象としない。
- ・解答は指定された欄内に記入し、欄外に書いてはいけない。ただし、記述の分量は採点の対象としない。

問1

バスケットボール部の部長およびマネージャーは誰か。それぞれの名前を記し、判断の根拠になった部分の会話をそのまま抜き出して発言者名とともに記述せよ。

問2

今回の「遠征のしおり（案）」を考えるために西村先生の研究室にいた学生で、西村先生が戻ってきた時点で研究室にいたのは誰か。全員の名前（敬称は不要）を列記せよ。ただし、問題文に記載されていない研究室における学生の入退室はないものとする。また、名前の順序は問わない。

問3

「遠征のしおり（案）」を読んだ顧問の西村先生から、特に重要な3項目が書かれていないので「遠征のしおり（案）」に新たに書き加えるようにとの指摘があった。問題文（補足説明を含む）と学生たちの会話から判断して、その重要な3項目の指摘は何かを考えて、書き加えられるべき事項3項目とそれぞれの理由を述べよ。なお、3項目の指摘について、解答の順序は問わない。また、「遠征のしおり（案）」に書き加える箇所の指摘は不要とする。

この問題文、補足説明、設問等に記載されている組織、設備、地名（新見駅を除く）、人物・人名、状況、規則・規定類などは、すべて問題のために架空に設定されたものである。